

# 2016/17 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

## 市原ロータリークラブ会報



第 2569 回例会 2016 年 11 月 2 日 (水) | SAA (司会) / 高澤会員 会報担当 / 上野会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄
- ソング 奉仕の理想
- お客様 国際ロータリー2790地区 ガバナー 青木 貞雄 様  
第3分区Bガバナー補佐 金親 博榮 様  
2790地区幹事長 藤崎 政弘 様  
成田コスモポリタンRC 小林 章 様  
成田コスモポリタンRC 大矢 桂介 様

- 会長挨拶 市原 RC 会長 西村芳雄



皆さん、こんにちは。

今日は、当地区の青木ガバナーをお迎えして、両クラブ合同での例会とクラブ協議会を行います。また、金親ガバナー補佐・藤崎地区幹事長にもお出で頂き、そして、成田コスモポリタンクラブの小林様・大矢様も来会されております。私は、両クラブを代表して会長挨拶をさせていただきますが宜しくお願ひ致します。青木ガバナーには、後程、卓話でご教授を賜り、そしてまた、クラブ協議会においてもご指導のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、私達は、地区協議会等で青木ガバナーの指針等について拝聴し勉強させていただいております。また、過日、金親ガバナー補佐をお迎えし例会・クラブ協議会を行い、方針などを説明して頂きました。そして、今日は、ガバナーのお考えを間近でお聞きすることが出来ます。私だけでなく皆さんも色々悩まれている事があると思いますし、お聞きしたいこともあると思います。良い機会ですので、クラブ協議会にて質問などをし、青木ガバナーのご意見・ご指導を賜われればと思っています。

ところで、私達は、ロータリアンになることにより多くの方たちと出会うことが出来、親睦の輪が広がりました。また、地域社会で果たしている奉仕活動により、いろいろな方たちと繋がりが出来、その多様さ・意義深さを再認識するにつけ、ロータリアンになったがゆえに出来るこ

とであると思います。これらは、青木ガバナーの指針の一つであります「感謝」だと理解しております。そして、それらを認識して、更なる奉仕活動などに「挑戦」していくことができるのではと思っております。ただ、私は入会して間もなく9年になろうというのに良く分からないのが、その活動を含めた職業奉仕部門です。皆さんもご承知のように、渡辺好政氏の「ロータリーの樹」の中で太い幹が職業奉仕です。その太い幹の解釈が、ロータリーでキャリアを積まれ精通された方々で意見が異なっております。私が出席しました地区主催の研修協議会や職業奉仕委員会でも、解釈や意見が分かれておりました。私は、ロータリーの「四つのテスト」や「超我の奉仕」などを念頭に置き、これは行動の哲学ですので、自分の職業で発揮していければ良いのではと思っておりますが、青木ガバナーはどのように思っておられるのでしょうか。最後になりましたが、私どもが主催の9月に行いました「あいさつ運動」には、市原中央クラブさんから三好会長を始めとして多数の方に参加していただきました。改めまして、お礼申し上げます。これからも地域で奉仕する活動について共同で出来ることがあれば、オールロータリーとしてやっていければと思います。このような活動を行うことにより地域でのロータリーの認知度が高まっていくはずですが、また、今月16日は両クラブの合同例会です。多数の方が参加し、大いに親睦を深めればと思っています。以上で会長挨拶を終わります。有難うございました。

## 本日のメインプログラム

### ガバナーをお迎えしてのクラブ協議会

#### 会長挨拶 市原 RC 会長 西村芳雄

これよりクラブ協議会に入りますが、市原ロータリークラブから発表させていただきます。

私は会長になるにあたりまして、RI会長のテーマやガバナーの地区行動指針を基本とした私なりの重点項目を活動計画に組み込んでいただくよう、各委員長をお願いしました。そして、各委員長には、活動についての報告や問題点などを後程簡潔に発表していただきますが、ロータリーの活動等については、「ロータリーの樹」に端的に表わされておりますし、また、「入りて学び、出でて奉仕せよ」と言います。研修リーダー・研修委員会主催によりロータリーの勉強をしておりますし、社会奉仕委員会でのあいさつ運動や地域貢献基金を活用しての運動などを初めとして、各奉仕委員会において色々活動を行っております。また、会員増強については未だ具体的な数字には表れておりませんが、活発な活動をしておりますのでいずれ達成するはずですが、そして、特に今年度は、前年度からの2つの継続委員会がありました。

ベタリングジャヤ学生派遣プロジェクト委員会は9月初旬の帰国報告で解散しましたし、クラブ細則作成委員会も10月末に会員の承認が得られましたので解散しました。この改訂細則の施行日は来年7月1日で、12月の役員・理事選任に間に合って良かったと思っております。

私からは以上で報告を終わりにして、各委員長に発表していただきます。

## ガバナー公式訪問卓話



2016-17年度ガバナーを拝命しております成田コスモポリタン RC の青木です。

地区大会は天候にも恵まれ、多数の皆様に参加をいただくことが出来、ありがたく思っております。

2008年国際協議会で自ら考案した職業奉仕を幹とする「ロータリーの樹」を発表すると共に、国内・国際ロータリーの要職を歴任された渡辺 好政 RI 会長代理 (RID2690PDG で元 RI 理事) による理解が容易なロータリーの基本、また、変化するロータリーへの対応等の話を伺うことが出来、多くの仲間との親睦を含め、皆さんも地区大会で何かを学んで頂いたのではと思っています。

さて、Germ RI 会長より、各クラブの状況把握、及び支援はガバナー補佐の務めであり、ガバナー公式訪問は、切磋琢磨するための複数クラブ間情報交換の場とするよう示唆があったため、本年度は、3クラブが6ヶ所、本日を含め2クラブが18ヶ所と54クラブは合同、残り29クラブが単独で、7月27日から11月下旬の間に83クラブを53回に分けて公式訪問させていただき予定で、本日は、第44回71・72クラブ目です。

6月末の富津 RC の RI 脱会により、当地区の今期は、83クラブ2,729名でのスタートとなりました。日本全体では富津 RC を含め、昨年1年間に6つのクラブが解散しました。

尚、私が所属する成田 CRC のコスモポリタンとは、世界人を意味しますが、実態は地区外向経験者も少ない活動が domestic なクラブなので、公式訪問の機会に各クラブの活動を体験させていただきたく、毎回2人の会員が私に同行しています。本日は、先ほどご案内のありました小林・大矢両会員に加え、地区幹事長藤崎が陪席させていただきますので、宜しくお願いします。

創立53年目と長い歴史の中で、斉藤・白鳥と2名のガバナーを輩出した市原 RC、そして子クラブで創立29年目ながら鈴木ガバナーを輩出された市原中央 RC、いずれも会員数が40名以上と地区では大型クラブに属しますが、外国姉妹クラブとの積極的な交流、地域社会における活発な奉仕活動に取り組むと共に、IAC を通じた青少年の

育成にも取り組んでおられます。そのような中、市原 RC は、会長の「ロータリーを語り、皆で元気なクラブを創ろう」のモットーの下、会員研修、CLP を通じたクラブの効率的・効果的運営を追究されているようですが、他方、最盛時に比して減少した会員数の回復が課題のようです。他方、市原中央 RC は、笑顔の絶えない例会、奉仕の追求等を通じて活気に溢れたクラブ造りを目指すと共に、今後の会員高齢化対応として若手会員の勧誘に努めておられるようです。地区研修リーダーをお願いしている白鳥 PDG がおられる場で私が色々申し上げることはないかと思いますが、当地区でも模範的活動を展開されている両クラブの皆さん後ほどのクラブ協議会で意見交換させていただくことを楽しみにしております。

さて、本日は、1)RI のテーマ・方針、及び地区の行動指針・運営方針、2)ロータリーの変化と対応についての2つのテーマについて話をします。John F. Germ 本年度 RI 会長は、

1. ロータリーに誘われた時点で、私達は、素晴らしい仲間と出会い、そして、人のために役立つことをする大きな機会を与えられる。世界には、多くの課題、助けを求めている人がいるが、我々に与えられた機会を生かすか否かは、我々一人ひとりの行動にかかっている。そして、我々は様々な分野から集った熱心で有能な職業人の集団であり、世界を変える力、ネットワーク、及び知識の結集がある。
2. 我々は、ポリオ撲滅に取り組んでいるが、ロータリーとは何か、そして何に取り組んでいるかを地域に広め、資金援助者を含めた仲間、会員を増やすことが重要で、仲間が増えれば、我々はより大きな目標を達成することが出来る。
3. 単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に取組み、4つのテストを真に実践できる会員、そして新入会員を暖かく迎え入れるリーダー、クラブが必要だ
4. P. ハリスがロータリーを創設した目的「価値観を分かち合える人を見つける」は現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずることだ。
5. ロータリアンは平等で、私たちはチームの一員だ。皆で協力して多くの人の人生を良いものにしよう。と述べた上で、ポール ハリスと同様、人生最大の目的は人類に奉仕することと信じ、2016-17年度のテーマを「Rotary Serving Humanity = 人類に奉仕するロータリー」としました。そして、対外的には、今やパキスタンとアフガニスタン、更に一旦終息が宣言されたが本年8月以降に3人の発症が伝えられてい



るナイジェリア等における「ポリオの完全撲滅」、内部に向けては、より大きな目標を達成するための「会員増強」を重点取組み事項とすると共に、ロータリー戦略計画に基づき、a) クラブのサポート強化、b) 人道的支援の重点化と増加、c) 公共イメージと認知度の向上に努め

よう私たちに求めました。

私は、志を同じくする人の集団は、その目的追及び活発な活動の展開に仲間の拡大が欠かせないと考えます。ただ人数が多ければ良いという話ではありませんが、ロータリーも同じで、会員が多ければ多いほど、私たちは素晴らしい仲間と出会う機会が増えます。また、奉仕活動を含めた種々の活動を活発に展開できます。そして、結果的に地域における知名度が高まり、新しい仲間の輪の拡大に繋がると思います。

「ロータリーとは何ですか?」、また、「ロータリーは何をやっている団体ですか?」と聞かれ、答えに窮する会員も多いと思いますが、私は「価値観を分かち合う仲間との Fellowship、即ち、友好を通じて自らの人間性・人間力を高めると共に、自らの職業を通じ、また自らの職業経験を生かし、あるいは出来る範囲で、周りの人の役に立つことをする心がけを持つ人の集まり」と答えます。尚、ロータリーは、職業上の高い倫理基準を求めています。私は、倫理感とは、職業だけではなく、人間として社会生活をおくる上で身に着けるべき基本と考えます。既にロータリアンとなり、素晴らしい仲間との出会いを、また、他の人のために役に立つことが出来る機会を与えられている私達は、ロータリーに対して感謝の気持ちを持つと共に、この感謝の気持ちを分かち合う仲間の拡大に挑戦すべきと考え、今年度地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。言い換えれば、私たちは、ロータリアンであることに感謝の念を持つことが出来るような活動の追及・挑戦が重要です。東京のある RC が去る7月末に東日本大震災で被災した福島盲学校の生徒・先生をハワイに招待しました。私が以前航空会社で働いていたことを知っている国際ロータリー日本事務所の職員を通じて依頼



があった「出発に先立つ成田空港でのお手伝い」を私が手配したことから、帰国後、お礼のメールが送られてきました。その中に、参加者が、ハワイのロータリアン及び盲学校生との交流を通じて感激している姿を見て、自分がロータリアンになって良かったと初めて思ったとの感想が付されていました。

このように、ロータリアンになって良かったと思う事が出来る活動を生懸命追及することが、ロータリーにとってだけでなく、ロータリアン本人にとって大事だと思います。」

さて、当地区会員数は、RI 第1ゾーン最大ですが、1995年4月の4,378名をpeakに減少しました。2012年6月末の2,689名で底を打ち、その後わずかながら増加に転じ、本年6月末は2,739名でした。しかし、地域特性もあり、当地区ではクラブ間の2極分化が進んでいて、本年7月1日時点では会員数が最大のクラブが80名に対し最少は5名です。

50名を超える大きなクラブが14、40名台9、そして30名台20で、

これらの総計は全体の5割強の43クラブです。

他方、残り40クラブは会員29名以下で、そのうち13クラブは会員が19名以下です。

3年前、私が地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を拝命した折、委員の皆さんとアンケート調査等を行い、会員増強について色々研究した結果は以下の通りでした。

1) 会員減少期でさえ、当地区では毎年200名超の新入会員が誕生していました。問題は、入会者と同数、あるいはそれ以上の会員が退会したことです。尚、このような知見に基づき、私が会員増強委員長を務めた翌年から地区の組織が、「会員増強・退会防止委員会」に改称されたことは、ご案内の通りです。

2) 後任が来る大手企業の社員の職場間異動を別にする、退会者の多くは、高齢者、及び入会5年未満、特に入会2~3年でロータリーについての知識と理解が未だ十分でない会員でした。

3) 会員歴5年未満の会員が退会する背景には、例会出席等の活動参加に時間的余裕がない、ロータリアンになったが活動に魅力がない・奉仕活動への取組みが少ない、幹部と意見が合わない等が多く見られました。会員増強に関する他地区資料を見ると、入会は会員との職業上の繋がりが大多数で、趣味の仲間も多くありました。そして、退会時の理由は、仲間意識の薄れ、親睦活動に魅力が無い等が多く見られます。尚、避けて通ることが難しい問題ですが、日本の会員数の推移は、GDPの変化に呼応しているという見方もあります。

日本全体の統計では、入会后1年未満の退会者が7%、1~2年未満が10%、3~4年が13%、即ち、入会者の30%は4年以内に退会しているようで、その背景として会員増強に重きが置かれて入会基準が甘いという見方があるようですが、私は、そうではなく、加入したクラブの活動に魅力が無いからではないかと考えます。従って、我々がまず取り組むべきは、縁あって入会した人がロータリアンになって良かったと思うような活動をクラブが追求すること、即ち、今年度RIテーマ「人類に奉仕するロータリー」の第1歩は、仲間に対する奉仕と考え、退会者を減らすことだと思います。

具体的には、出席したくなる例会、参加したくなる親睦・奉仕活動の展開、及びロータリーを理解し、かつロータリー活動に対する関心を深める研修の強化です。

私が学校を卒業して企業に勤め始めた約50年前、職場では、部長は元より、課長の顔を見ることもまれでしたが、1990年代に入って産業のGlobalization、即ち国際化が進むと、企業間競争が激化し、大手企業でも今や課長・部長は元より、役員も率先して仕事に直接携わらざるを得ない状況、言い換えれば職位があがるほどに仕事が厳しくなり、中には、社長も大部屋で一般社員と一緒に仕事をしている大企業も出てきました。ロータリーの根幹は職業奉仕であり、自らの職業をしっかりと務めることが第1です。従って、気ぜわしい現在の世で貴重な時間をロータリー活動に割くには、私達は、今まで以上に魅力ある活動を展開しなければ会員の維持、新規会員勧誘は難しいと思います。

ロータリーは単年度主義と言われますが、これは会長、ガバナー等の任期で、会員は毎年変わるわけではありません。従って、クラブ運営は継続性を以って行う必要があります。特に、仲間の拡大に繋がる元気なクラブ作り、研修を通じた会員歴の短い会員の育成、そして、新規会員の勧誘等は永遠の課題であり、継続的取組みをもって対応する必要があります。

会員増強と言うと、「質か量か」の議論が先行し、行動が伴わないケースがよく見られます。クラブの中には、会員が少なくても、会員歴の長い会員を中心に模範的な活動を展開しているクラブもありますが、会員の加齢は年々避けて通ることが出来ず、このようなクラブでも、

新入会員、特に若年新入会員の勧誘に力を入れる必要があります。ロータリー活動の経験が浅い私ですが、最近地区委員、ガバナー補佐等を体験し、ロータリーには、その活動・歴史等についての知識が豊富で研究を常に怠らない会員が多くいることを知りました。その後、私は、斯かる仲間からロータリーについて色々教えを受けています。クラブには、このようにロータリー活動についての識見に富んだ会員も必要ですが、多くの会員にこのような活動を望むのは難しいと思うと共に、私は、全員がこのような会員である必要は無いと思います。それよりも、例会等に出席し、お互いに意見を交わし、知らないことを学んで成長していくことが大事です。

ロータリアンの中には、ロータリー活動を難しく考えたり、神聖視したりする人もいますが、111年の歴史を通じて変化してきたロータリーには、こうでなくてはいけない、あるいはこうあるべきだと言う絶対はなく、それより多様性が重んじられると共に、理念を求めるよりも実践・行動が重要だと思います。

Germ 国際ロータリー会長の言にもある通り、4つのテスト、ロータリーの目的、あるいはロータリアンの行動規範が実践できる人、また実践しようとする人であれば、誰でもロータリアンになる資質を備えているのではないのでしょうか。日本には長幼の礼と言って高齢者を敬うしきたりがありますが、ロータリー活動においては、私と皆さん、そして、昨日加入した会員と会員歴30年・40年の会員、皆平等です。大事なことは、ロータリーに加入した新会員と私たちが一緒に学ぶ謙虚さを持つと共に、知らないことを教え合い、次の時代のリーダーを育てていくことだと思います。このため、今年度は、多くの新入会員を対象に研修強化を図ることが出来るよう、地区主催ではなく、AG主催により約10年前まで行われていた分區別会員歴5年未満会員研修を復活させましたが、結果として、ここ2年は秋の行事となっていたIM開催時期を年明けに戻しました。

もう1つ頭に留めておくべきは、創立25、30年を迎えて会員の高齢化が進むクラブの中に、会員減少が顕著なクラブが見られることです。ロータリーに終わりは無いので、クラブ運営は常に課題を見つけ、その解決に継続的に全員で一生懸命取組み、この時期を乗り切ることも重要です。

私は、会員増強と言わず、あえて仲間の拡大と言いますが、全てのクラブが元気なクラブとして充実した活動を追求し、志を同じくする仲間の輪の拡大に繋げていただくよう、今年度ガバナー月信最終頁で元気なクラブを紹介しています。皆さんにも是非、他クラブの模範となる元気なクラブの活動をガバナー月信で披露して下さい。

ロータリー活動にとって大事なものは、RIでも、地区でも、またクラブでもありません。会員の皆さんです。皆さんは、自らがロータリアンになって良かったと思うような活動を仲間と一緒に追及して下さい。

尚、RI会長は会員数が50名以下のクラブには会員純増1名を求めています。皆さんには更なる活動の活性化に向けてRI目標以上の会員純増に取り組んでいただくと共に、①来年のR財団100周年に向け、例えば地域の奉仕プロジェクトにR財団100周年記念事業の冠をつける、②ここ2年続いている地区としてのR財団寄付ゼロクラブOの継続に向けた協力、そして、③IT化が進む国際ロータリーにaccessするためのMy Rotary登録推進等をお願いします。

さて、本日の卓話の2番目のテーマは、変化するロータリーと、私たちの対応です。

今年1月、ガバナーになるため受講が必須の国際協議会に参加した折、来年6月に米国ジョージア州アトランタで開催される国際大会のスポンサーにコココーラ社が指名されたとの発表がありました。同時に、コココーラの文字とロータリーのロゴマークが印刷された赤いセロファンで包まれたコココーラの瓶が晩餐会の食卓に提供されたこと

に、私は、ロータリーがこんなことをするのかと驚かされました。

本年4月の規定審議会では、標準ロータリークラブ定款の近來稀な大幅改定が行われました。8月15日付で地区より和訳2016年版「標準RC定款」をご案内したので、皆様には、既に新しい標準RC定款の内容について研究されていると思いますが、今回の大きな改訂の多くは義務ではなく、各クラブに選択権を与える任意規定です。即ち、改定された中で、義務規定は主として以下の9つです。

- 1) 理事に会計を含む
- 2) 理事会議事録の作成、及び会員への60日以内の回覧
- 3) 少なくとも①クラブ管理運営、②会員増強、③奉仕プロジェクト、④公共イメー、ジ、⑤ロータリー財団の5つの委員会のクラブ内設置
- 4) 出席免除会員の条件に、少なくとも20年以上ロータリアンであることを付加
- 5) Eクラブの名称と定義の廃止
- 6) 2017～18年度以降の人頭分担金引上げ額を現在の年間USD1からUSD4に変更
- 7) 職業分類は残すものの、会員身分の条件緩和（会員の資格条件は「善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上、または地域社会で良い評判を受けており、地域社会・世界において奉仕する意欲のある成人によって構成する」を残し、

「国際ロータリー定款」5条の第2節 a) 1) から6) が削除したため、1)～3)に規定さ

れている有益な事業や専門職務の所有者・共同経営者、法人役員・支配人、あるいは

裁量の権限ある管理職等の重要な地位にあること、またそれらの地位から退職してい

ること」が廃止されたため、職業経験のない人でも会員になれることとなりました。

- 8) ローターアクターとロータリアンの二重登録可能
  - 9) 年会費の徴収義務は残ったが、入会金の徴収義務は廃止
- これらは本年7月1日以降導入が求められる規定変更ですが、この中で、会員身分の条件緩和、及びローターアクターとロータリアンの二重会員可能は規定として排除できないものの、新入会員の選考にあたり、クラブが別の理由で職業経験の無い人、また、ローターアクターの加入を排除することは可能です。

そして、例外規定として新たに導入された

- 1) 例会は最低月2回開催。
  - 2) 従来の会合型クラブの一部例会のオンライン化可能
  - 3) 祝祭日がある週の例会は休会に出来る
- 等は、採用するか否かがクラブの裁量に任ざれており、徴収義務が廃止された入会金を徴収するか否かを含め、各クラブが細則でいかようにも決めることが可能です。同時に、従前の運用形態を継続することも可能です。尚、会合規定で例会のオンライン化が認められているため、名称は別にしてEクラブの設立は引続き可能です。しかし、逆に言うと、これら緩和された規定に基づき、①入会金無料、②例会は月2回、③例会の1部をオンライン例会とする、④祝祭日のある週の例会は休会。但し、例会月2回のクラブには不適用。⑤職業経験の無い人も会員にする、⑥RACTRも会員にする等の運営形態を採用するクラブの誕生が可能になりました。

ご案内の通り、各クラブはRIの管轄下にあり、地区の管轄下にはないため、私、または地区が、皆さんのクラブの運営形態について指導・指図は出来ない仕組みになっています。従って、地区が統一した運営基準を全クラブに指図することも出来ません。

規定に基づき、規定審議会決定事項は、会議終了後2ヶ月以内に各クラブに報告されると同時に、その後2ヶ月以内の反対意思表示が可能です。そして、反対票が有効投票の5%を超えた規定は、全クラブを対象に再度郵便投票で賛否を問い、多数決で否決されない限り、7月1日に遡って発効します。

このため、標準 RC 定款等を掲載した和訳「手続要覧」発行は年末になるのが恒例です。しかし、今年は大きな変更があったためか、My Rotary で6月中旬に英文「標準 RC 定款」が、そしてご案内の通り、8月中旬に和訳「標準 RC 定款」、「国際ロータリー定款」、及び「国際ロータリー細則」が発表されました。また、9月中旬には、英文ですが、「2016年手続要覧」が発表となっています。(RI 理事会等で解釈が変更可能なロータリー章典に基づく手続きが、3年に1度改訂される規定審議会決議より頻繁に改訂されることから、手続要覧の白い頁が今年よりなくなるとの案内が規定審議会決定報告書で一旦発表されましたが、ロータリー章典に決議 23-34 は手続要覧に掲載すると理事会決議が記載されており、今回も、決議 23-34 (社会奉仕に関する 1923 年の声明)、ロータリー目的等は、引続き白い頁として残っています。

ロータリーの基本理念に沿った活動を展開されてきた市原、及び市原中央 RC の皆さんは、今回の規定審議会決議に拘わらず、従来の運営形態を継続されると思いますが、2016 年規定審議会決議に基づく標準 RC 定款の内容をしっかりと確認し、定款の規定の中で、皆さんのクラブがどのような運営形態を採るか会員間で十分話し合い、新クラブ細則を作成していただくようお願いいたします。

但し、今回の規定改訂に伴いクラブ間で運営形態に差異が出た場合、会員のクラブ間移動が発生する可能性が否めないことには留意して下さい。皆さんには、変化するロータリーの現実を理解すると共に、各クラブがとる様々な運営形態を認める寛容さ、広い心を持って今後の活動に取り組んでいただくようお願いして、私の卓話とさせていただきます。どうもありがとうございました。

## 委員会報告等

山本会長エレクト

12月7日例会にて年次総会、次年度理事役員選挙を行います。

細則に則って1か月前より、理事役員の候補者を受け付けますので立候補・推薦者がいらっしゃいましたら会長・幹事までお願いします。

2週間経過して候補者がいなければ、理事会を指名委員会とし候補者を立てさせていただきます。



## 西村会長・岡本幹事

青木ガバナー本日は卓話をして頂きありがとうございました。藤崎幹事長、金親ガバナー補佐、成田コスモポリタン RC 小林様、大矢様、合同例会にお越し頂きましてありがとうございました。

■出席報告 前々回確定66.67% 本日出席23名  
欠席17名 本日出席率60.53%

■点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄